



国際センターだより

International Activities Center

「国際センターだより」では、土木学会の国際活動の一端を紹介しています。国際センターが毎月発行している「国際センター通信」と合わせてぜひご一読ください。

News Pick Up !!

CECAR8、大勢の方にご参加、ご協力いただきました！



セッションでは産官学の枠を超えて議論が行われた

アジア土木学協会連合協議会 (ACECC) の主要活動である「第8回アジア土木技術国際会議 (CECAR8)」が4月16日から19日、ホテルメトロポリタン池袋にて開催された。JSCEは当会議のホストとして、ACECCと連携して約3年前より準備をはじめ、当日を迎えた。

今回、アジア諸国のみならず、アフリカ、ヨーロッパなど30を超える国・地域の産官学の土木関係者約700名が参集し、最新技術、災害・防災、インフラ維持管理、老朽化、交通計画、ダイバーシティ、技術者育成、社会貢献他について議論を交わした。並行して、会場内に展示ブースを設け、ゼネコン、コンサルタント、東京都、政府関係機関、NGOなど約50の組織が最新技術やプロジェクト等を紹介した。留学生が足を止めて熱心に質問する姿も見られた。



盛況なブース展示会場



ACECC旗を掲げる Dr. S.L. Swamy (インド土木学会会長)

プレナリーセッションでは、寺島実郎氏 ((一財) 日本総合研究所会長)、ロビン・ケンパー氏 (米国土木学会会長)、プノア・リュロ氏 (関西エアポート専務執行役員) をお迎えし、将来のビジョン、土木技術者のミッション、インフラレジリエンスへの取り組みといった、技術者が常に向き合っている挑戦について、独自の視点と経験をもとにした興味深い講演をいただいた。その他にも、若手を中心とするネットワーキングレセプションやディスカッション、テクニカルツアー、ACECC受賞式も行われ、内容の濃い会議となった。

閉会式にて、小林潔司会長より今後のACECCの活動指針となる東京宣言2019 (Tokyo Declaration 2019) が発表され、そして次回のCECARのホストを務めるインド土木学会長にACECC旗が引き渡され、会議の幕が下ろされた。

当会議の開催において、会員の皆さまをはじめ多くの方々からご支援とご協力をいただいたことに、心より感謝申し上げます。

Event Calendar

国際センターが企画するイベント (行事) については、以下のURLでアクセスし、「イベント情報&開催報告」をご覧ください。

<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/>

News Pick Up !! と Event Calendar の詳細は、毎月発行の「国際センター通信」をご覧ください。「国際センター通信」は下記の学会ホームページ (日本語版・英語版) からアクセスできます。また、メール配信を希望される方は、国際センター事務局までメールにてお申し込みください。 ※国際センター事務局 e-mail : iac-news@jsce.or.jp

- 日本語版 HP : <http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/26>
- 英語版 HP : <http://www.jsce-int.org/pub/iacnews>
- Facebook : (日本語版) <http://www.facebook.com/JSCE.Jp/>
- (英語版) : <https://www.facebook.com/JSCE.en>